

NEWS CIT

2017
1.15

ニュースシーアイティ

千葉工業大学・入試広報部
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼
2丁目17番1号
TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344

<http://www.it-chiba.ac.jp/>

毎月1回(8月を除く)15日発行

ニュースガイド

- 2面 脇田研・パウカルさん小谷さん受賞/下川さん最優秀賞、秋山さんら2位/橋本教授ら自家骨化しやすい補填材開発/教育功労者表彰=土手内課長、上杉課長
- 3面 千秋上席研究員が「火星探査車、審査/荒井上席研究員が「研究への思い」講演/きぼ一で中川助教らWS/千葉エリア産学官フォーラム/新種サンゴに松本研究員の名前
- 4面 地域と本学連携イベント=ルミラージュちば、御宿、浦安、香取・神南小
- 5面 同一習志野、香取・栗源小/三輝さん落語講演会/校友「桐生宇優さん」
- 6面 12月キャンパス見学DAY、クリスマスイルミネーション・イベント/訃報

英財務相が視察

fURO最先端ロボットタウンキャンパスで



ハモンド財務相(中央)に櫻杏號を説明する吉田主席研究員(左隣)と小宮学長

欧州連合(EU)からの離脱交渉開始を今春に控えている英国のハモンド財務相が12月15日、東京スカイツリータウンキャンパスを訪れ、未来ロボット技術研究センター(fURO)が開発した世界最先端のロボットを視察した。英国はEU離脱による経済の不透明化を回避し活性化するために、ロボットや人工知能などの技術開発に注目しており、fUROのロボットから今後の技術開発の方向性を探るヒントを得たいとの思いがあったようだ。

EU離脱交渉控え 技術の方向性探る

この日のハモンド財務相の東京スカイツリータウンキャンパス来訪は、菅義偉官房長官や麻生太郎副総理・財務相との会談など分刻みのスケジュールの中で、英国側の強い要望で実現した。ヒッチェンス駐日大使を伴ってスカイツリータウン8階までエスカレーター

フィリップ・ハモンド財務相 オックスフォード大卒。企業経営者を経て1997年に庶民院議員に当選。2010年以降、キャメロン首相の下で運輸相、国防相、外務相を務め、EU離脱決定後の16年7月、メイ首相によって財務相に任命された。父親は土木技師。61歳。



「魔法のカード」で投影を試す



火星探査船シミュレーターを操縦体験

「魔法のカード」で投影を試す。き目を細めながら、説明役の大和秀彰主席研究員に「このロボットのキーテクノロジーは? どんな応用が考えられますか?」など質問。人を感じ

また、「Hailuc IIx (ハルクツィー! カイ)は小太刀宗研究員、「ILYIA (アイリーエー)は萩原一輝研究員が操縦。同相は「Hailuc IIx」のユーモラスな動きに目を細めながら、説明役の大和秀彰主席研究員に「このロボットのキーテクノロジーは? どんな応用が考えられますか?」など質問。人を感じ



石川高専と連携協定。本学は、地域で有能な工科系人材を育てようとして12月22日、独立行政法人国立高等専門学校機構石川工業高等専門学校(石川県河北郡津幡町)須田義昭校長・生徒約1100人と、教育・研究活動全般に係る「包括的な連携に関する協定」を締結した。

この実験はイングリッシュの鉄道施設の大半を所有・管理する「ネットワーク・レール」がかつてケンブリッジ大に勤務していた小宮学長に依頼、古田所長をはじめfUROの全面協力を得て実現した。

な現場でも動けま すね」「カメラの映像を見て遠隔操縦するのですね」などの的確な質問。

30分の視察を終えた同相は「これまでも英国と日本は緊密に協力して関係を深めてきました。今後もこの協力関係がより深まることを楽しみにしています」。これに対して小宮学長は「本学には人工知能・ソフトウェア技術研究センターもあり、手を取り合っ

英の鉄道施設を調査 学長・fUROと縁。ハモンド財務相の今回の東京スカイツリータウンキャンパス訪問要請は駐日英国大使館から未来ロボット技術研究センターの古田貴之所長に寄せられたが、本学と英国はこれまでにも深い関係を築いてきた。

また、一昨年11月には古田所長がイングリッシュ東部のノリッチとロンドンで「ILYIA」と「Hailuc IIx」を持参してロボット技術と文化に関する講演会を開催し、大好評を博した。

千葉工業大学工学部デザイン科卒業研究展
2016年度 卒業研究展
デザインの根
2016年度16編発表が盛りだくさん

2017.2.5 SUN / 6 MON 10:00-17:00
千葉工業大学津田沼キャンパス 2号館1階・3階/4号館1階

デザイン科の学生たちが4年間の集大成を発表します。「デザインの根」は、さまざまなデザインの「根」を学んだ学生たちが大きな木へと成長することを期して名付けました。期間と場所はポスターの通りです。ぜひご来場ください。

応用物理学会で 脇田研の2人受賞



R・パウカルさん

博士後期課程3年II写真）が「ZnS結晶における偏光ラマン散乱スペクトルの温度依存性」を英文でポスター発表し、優秀ポスター賞を受賞した。

三元タリウム系化合物の熱電特性で優秀ポスター賞

太陽光発電の材料などを追求する脇田和樹教授の研究室の大学院生2人が、応用物理学会の研究会で成果を発表し、表彰された。

従来の光学分野に加え量子論的なフォトニクス関連領域を扱う応用物理学会フォトニクス分科会の第1回フォトニクス研究会「光の境界を開拓する!!」(12月2、3日、那覇市の沖縄県青年会館で開催)で、パウカル・ラウルさん(工学専攻

三元タリウム系化合物は二次元結晶構造に由来して、温度の低下につれて構造相転移(結晶が対称性の異なる構造に変わる現象)し電氣的・熱電的性質が変化するため、熱電発電の材料として期待されている。しかし基礎物性と構造相転移との関係が十分に説明されていない。

R・パウカルさんらは、解像力が高い最先端の共焦点レーザー顕微鏡システムを用い、三元タリウム系化合物に属するZnS結晶で、構造相転移温度付近での偏光ラマン散乱スペクトルの温度依存性を調べた。

その結果、格子振動が温度に敏感に変化する振動モードと、そうでない振動モードを分離し、それぞれの起源が結晶層間と結晶層内の分子結合に

環境に調和した太陽電池へ薄膜作製研究
応用物理学会の多元系化合物・太陽電池研究会年末講演会(12月9日、



小谷さん講演奨励賞

福島県郡山市の産業技術総合研究所・福島再生可能エネルギー研究所で、小谷昌大さん(電気電子情報工専攻修12年II

一苦労だったという。ポスター発表11件中、2件が優秀賞に選ばれた。R・パウカルさんは「受賞は全く予想外でしたが、とてもうれしい」と感想を述べた。

小谷さんらは、パルスレーザー堆積法(PLD法)IIレーザーを1秒間に数回ターゲットに打ち付け物質を蒸発させて基板まで飛ばし、堆積させる方法IIで薄膜を作る際に使う「CZTS多結晶ターゲット」の組成比率を最適に制御するため、溶液を用いない固相反応法で多結晶を作り、評価

した。また、PLD法でCZTS薄膜を作り、物性を解析した。この結果、作製したCZTS多結晶と薄膜は、均一性が高いことを確認。また、SnSなどの異相物質がないことも、X線回折測定とラマン分光法測定で確かめた。作製プロセスが複雑で、試料を統括し研究を

取りまとめるのに苦労した。データベースを作り共同研究者とうまく連携できたことが成果につながったという。発表20件中、2件が受賞した。小谷さんは「大変光栄です。脇田先生と研究室の方々にお礼を申し上げます。今後も精進します」と語った。

下川さん最優秀賞

2位も 秋山さんら

▼関東学生景観デザインコンペ

第3回関東学生景観デザインコンペティション(関東学生景観デザインコンペ実行委員会主催)の公開審査会が昨年11月27日、埼玉県和光市中央公民館で開かれ、下川翔平さん(建築都市環境学専攻修1年・今村創平研究室)の「屋根倉が紡ぐ大地の営み」が最優秀賞に選ばれた。

今回テーマは「時を繋げる景観デザイン」。埼玉県和光市の荒川下流域に広がる大規模環濠集落跡・牛王山遺跡を舞台に、昔と今を繋ぐ和光市特有の景観デザインが募集された。

見された田畑地帯をたどらせた。屋根の下には倉や作業場を設け、周辺の人々が暮らしを営み続けるための場所をつくった。

1週間、集中して模型やプレゼン形式をつくった。リサーチ内容やアイデアがうまく反映できたという。

埼玉県内外の建築関係者、イタリア国立ポロニヤ大から招いた建築学部准教授 松本武洋・和光市長らに市民30人も票を投じ公開審査。「遺跡公園をつくるだけではな

く、この場所で暮らす古代と現代の人々が繋がるための場所と景観を、さまざまな形態の屋根によってつくり出すことができていたと評価された。下川さんは「前回(3位に相当する景観デザイン賞)に続いて入賞できて光栄です。小さい頃から

ら興味があった考古学と今学んでいる建築を介して、古代遺跡を残していく提案ができたと思えます。市長や和光市民から多くの意見が頂け勉強になりました」と語った。

優秀賞・秋山さんらの提案は、遺跡群を歴史的価値に加え町の生活環境を形成する場と捉え、史跡公園の在り方を再構成した。3人は「地域の人々とのデザインセッションの中で審査が進められるという貴重な場で、建築を見つめ直す機会になりました」と語った。

次点の優秀賞にも本学の秋山裕央さん(同2年・遠藤政樹研究室)・高橋由寛さん(同)・川合豊さん(同1年・今村研究室)ら3人の「時の生

きく風景が選ばれた。上位3作品は市民のために12月中は和光市中央公民館、1月は12日まで市民文化センターで展示された。

見された田畑地帯をたどらせた。屋根の下には倉や作業場を設け、周辺の人々が暮らしを営み続けるための場所をつくった。

1週間、集中して模型やプレゼン形式をつくった。リサーチ内容やアイデアがうまく反映できたという。

埼玉県内外の建築関係者、イタリア国立ポロニヤ大から招いた建築学部准教授 松本武洋・和光市長らに市民30人も票を投じ公開審査。「遺跡公園をつくるだけではな

く、この場所で暮らす古代と現代の人々が繋がるための場所と景観を、さまざまな形態の屋根によってつくり出すことができていたと評価された。下川さんは「前回(3位に相当する景観デザイン賞)に続いて入賞できて光栄です。小さい頃から

ら興味があった考古学と今学んでいる建築を介して、古代遺跡を残していく提案ができたと思えます。市長や和光市民から多くの意見が頂け勉強になりました」と語った。

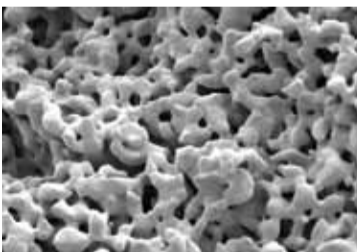
優秀賞・秋山さんらの提案は、遺跡群を歴史的価値に加え町の生活環境を形成する場と捉え、史跡公園の在り方を再構成した。3人は「地域の人々とのデザインセッションの中で審査が進められるという貴重な場で、建築を見つめ直す機会になりました」と語った。

自家骨化しやすい補填材

▼橋本教授が産学連携で開発



橋本教授が産学連携で開発



自家骨化しやすい補填材

開気孔率が高まる。このため孔内に細胞や血液が入って、患者自身の骨組織と一体化する「自家骨化」がしやすい。なる特長をもつという。

応用化学科・橋本和明教授II写真IIの研究室は大工製紙(株)福山医科(千葉市)と共同でパルプを原料とするセルロースナノファイバー(CNF)を利用した多孔質の人工骨補填材II同下IIの開発に成功した。

はリン酸カルシウムとCNFを混合して乾燥、成型し、焼結することでCNFの部分が微細な孔として残り、従来の気泡剤を使った製法に比較して

開気孔率が高まる。このため孔内に細胞や血液が入って、患者自身の骨組織と一体化する「自家骨化」がしやすい。なる特長をもつという。

橋本教授の話 私にとって10年がかりの研究に1つの結果が出たわけだが、周辺特許の申請から製品化まで研究はさらに息長く続きます。これから外部企業と協力しながら、人の役に立つものを社会に送り出していきたい。

土手内課長 上杉課長 教育功労者表彰



土手内課長



上杉千佳課長

本校の土手内徹・学務部学務課課長と上杉千佳就職・進路支援部就職課課長が12月3日、千葉県私立教育振興財団から教育功労者として表彰された。土手内課長は平成元年4月に勤務以来、人事課、秘書チーム、国際交流課、入試広報課、学務課で、持ち前のバイタリティーを発揮して業務を遂行。平成8年度には本学国際交流の先駆けとして中国・哈爾濱工業大で海外研修を経験しグローバル化に貢献した。上杉課長は平成元年4月に勤務以来、人事課、就職課、就職課で熱心に職務を遂行。特に学部・学科改組に伴う教育課程変更、教学システムの導入などで複雑な業務をこなし、本学発展のために尽力した。

夢の火星探査車を審査

▼ 千秋上席研究員 千葉の小・中学生コンテストで

小学生と中学生が自分たちで作った火星ローバー(探査車)の性能やデザインを競うコンテストが12月3日、千葉市中央区の千葉市科学館で開かれ、惑星探査研究センター(PERC)の千秋博紀上席研究員が小学生部門の審査員を務めた。

今年で18回を迎えた「火星ローバーコンテストin千葉」にPERCはこれまで審査員を派遣しており、千秋上席研究員は3回目。



④表彰された小学生たちと記念撮影する千秋上席研究員(後列左端)⑤作品にアドバイスする千秋上席研究員(中央)



コースで走らせたり、与えられたミッションをクリアしたりするもの。これによって子どもたちの目を宇宙や機械に向け、パンス部門と合わせて26チームが参加。千秋上席研究員は「科学都市」を標榜して科学教育振興策や先端技術を活用した

街の活性化戦略などを実施。本学とは昨年4月に包括協定を締結している。

千秋上席研究員の話 私たちはこのコンテストを通じて、子どもたちがものづくりの面白さや試

行錯誤の大切さを学んでくれることを期待しています。これはすぐに成果が得られるものではありませんが、継続することによって子ども自身とサポートする先生方、保護者のレベルも確実に上がっていると感じています。

は、ほかにも社会人基礎力向上のための「大学生カレココンペティション」プロジェクトが「ちば食育ボランティア」に登録されている。

クリスマス小学生WS

▼ きぼーるで中川助教と学生たち



EDKキャンドル」作りを楽しんだII写真。千葉市中央公園や通りをイルミネーションで彩る「ルミライジ」は2016年11月5、6日の4日間、本学情報ネットワーク学科の中川助教らと千葉商工会議所の協力で開かれ、延べ約70人の子どもたちが「クリスマスリース」と「

EDKキャンドル」作りを楽しんだII写真。千葉市中央公園や通りをイルミネーションで彩る「ルミライジ」は2016年11月5、6日の4日間、本学情報ネットワーク学科の中川助教らと千葉商工会議所の協力で開かれ、延べ約70人の子どもたちが「クリスマスリース」と「

長瀬亮教授(機械電子創成工学科)▽森信一郎教授(知能メディア工学科)▽河合剛太教授(生命科学科)▽松島大教授(都市環境工学科)▽松崎元教授(デザイン科学科)▽上田隆一准教授(未来ロボティクス学科)▽伊與田光宏教授(情報工学科)▽山崎治准教授(情報ネットワーク学科)▽岩下基教授(経営情報科学科)

「研究への思い」講演

▼ 荒井上席研究員 キャンパス見学DAYで

「津田沼キャンパス見学DAY」の12月18日、惑星探査研究センター(PERC)の荒井朋子上席研究員が、訪れた高校

生・受験生や保護者・一般来場者たちに、惑星科学研究者としての経験や生き方を語りかけ、大きな拍手を浴びたII写真。

の流星観測プロジェクト「メテオ」最新状況と今後の展望。会場の4号館435教室には約1000人が詰めかけた。

荒井上席研究員は「地球や太陽系の歴史を記録する化石や隕石について知りたい」との思いから、JAXAを退職し国立極地研究所を経て本学に移籍。2013年に参加した米国の南極探査隊では研究者10人のうち4人が女性だった

環境の違いを紹介した。現在取り組んでいる「メテオ」は、地球に飛来する流星の塵を手がかりに「生命と太陽系の起源」に挑む壮大なプロジェクトで、民生品を活用し開発期間とコストを抑えたコンパクトな宇宙科学ミッションでもある。

授の呼びかけで2015年5月に発足。現在14人の女性教員が参加している。ネットワークの目的は女子学生にとどまらず全ての学生に、将来どんな道があるかというロールモデルを示すこと。また、社会の多様化に伴う女性研究者の活動分野の広がり(ダイバーシティ)についても学生たちに紹介したいとしている。

小浦教授は荒井上席研究員の講演について「いろいろな研究には女性・男性の差があるのではないかと、いかに強い思いで挑むかが重要なのだと感じました」と話した。

ニュージールランドの深海サンゴの新しい惑星探査研究センター(PERC)の松本亜沙子研究員(非常勤II写真)の名前が付けられた。

松本研究員が昨年9月、深海サンゴシンポジウム(米ボストンで開催)での研究発表に先立ち、スミソニアン自然史博物館(ワシントン)に

調査に立ち寄った際、パティー会場、同館のサンゴ研究者で旧知のスチファン・D・ケアンズ博士からサプライズがあった。ケアンズ博士は松本研

松本研究員の名前に新種サンゴに命名



「Pachyrhiza askkoe gen. et. sp. nov.」の名前がつけられていた。松本研究員は「ケアンズ博士のような重鎮の研究者に献名していただけたことは、身に余る光栄で

は、ほかにも社会人基礎力向上のための「大学生カレココンペティション」プロジェクトが「ちば食育ボランティア」に登録されている。



「千葉工業大学・女性研究者ネットワークフォーラム」の企画で、タイトルは「宇宙から

講義は荒井上席研究員もメンバーに加わっている

「千葉工業大学・女性研究者ネットワークフォーラム」の企画で、タイトルは「宇宙から

講義は荒井上席研究員もメンバーに加わっている

「千葉工業大学・女性研究者ネットワークフォーラム」の企画で、タイトルは「宇宙から

講義は荒井上席研究員もメンバーに加わっている

「千葉工業大学・女性研究者ネットワークフォーラム」の企画で、タイトルは「宇宙から

講義は荒井上席研究員もメンバーに加わっている

「千葉工業大学・女性研究者ネットワークフォーラム」の企画で、タイトルは「宇宙から

本学は地方創成に協力しようと浦安市、習志野市、香取市、御宿町の各市町と包括的な連携協定を結んでおり、今年度もさまざまな協力イベントを行った。

世界一行きたい科学広場

浦安で応用化学科・寺本研



昨年11月26日には浦安市東野の東海大付属浦安高校中等部体育館で「世界一行きたい科学広場」が開かれた。

寺本直純准教授の研究室が、おなじみとなった「人工イクラを作ってみよう」いろいろな色のイクラ?」教室を開いた。

シウムゲル)をつくる実験で研究室の学生たちが丁寧に指導したII写真。子どもたちはストローをコップに挿して一滴、

また一滴と、慎重に少しずつを落とし、コップの中心に黄、赤、緑と色とりどりのイクラが生成されていく様子を楽しんだ。

地域と本学 連携イベント



LED演出に活躍

ルミライージュちばでデザイン科学科

千葉市の中心街をイルミネーションで彩る「ルミライージュちば2016」(第26回千葉都心イ

ルミネーション12月1日〜2017年2月14日)の点灯式が12月1日、千葉市中央公園であ

ったII写真上。

「こども工務店」開催

御宿で建都学生たち

房総・御宿町の青年・子どもたちとともに地方創生の課題解決プロジェクトを進めよう、と建築

都市環境学科で「都市環境デザイン」(内海秀幸教授・鎌田元弘教授が担当)を学ぶ学生47人が昨

年10月23日、第一弾「こども工務店」を開催。地元の子もたち72人と木製のマルチブロックを作り、使い道を一緒に考え

たII写真下。

副題は「こども大工さんのつくるまち」。

企画・設計は本学非常勤

講師で建築家の一色博貴さん、材料加工は御宿町で工務店を営む本学OB・小山武治さんが担当。

プロジェクトで遊ぶ

浦安でデザイン科学科・山崎研

浦安市富士見の堀江公民館で昨年11月6日、デザイン科学科・山崎和彦

研究室の学生らが中心となって参加型アートのワークショップ(W.S)

「魔法のひみつ」をテーマにしたII写真上。

紙に描いた「衣装」が、身に付けたエプロンやマ

たII写真左。

プロジェクトで遊ぶ。プロジェクトで遊ぶ。プロジェクトで遊ぶ。

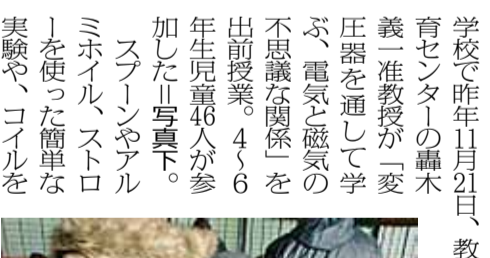
電磁気の不思議

香取・神南小で轟木准教授が授業

香取市下小野の神南小学校で昨年11月21日、教

育センターの轟木義一准教授が「変圧器を通して学ぶ、電気と磁気

の不思議な関係」を



子どもたちをサポートした。

1つ目は本プロジェクトに備え子供と学生でマルチブロックの簡易模型作り。できた模型を自由に彩色してもらった。

2つ目は、簡易模型で

何を作り▽どこに置き▽誰に使用してもらうか▽を話し合った。

「たくさん並べてアイドルのコンサートステージにしたい」「海で飛び込み台にしたい」など、子どもたちの発想や行動から学ぶことが多かった。アイデアがこんなにたくさん出てくるのは、まっすぐに活用しないのはもったいないと感じました。一緒に楽しむ大人の表情も印象的でした。今後、さらにアイデアを多様な形で町に残していけたらと思います」と語った。

子どもたちをサポ

ちの発想が飛び交った。他に、のこぎり体験、ユニボ操縦体験など全8ブースを巡り終え、後半は本物のマルチブロック作りに挑戦した。

学生と地元青年部が前日作っておいいた土台に、子どもたちが天板を張って木製の小ブロックを作

製。組み合わせでベンチや遊具に使った。大半の子は大工仕事初体験で、くぎを打っては、抜いて打ち直して、なんとか水平に置けるブロックを完成。全員が「こども一級建築士」と認定され

免状が手渡された。解散後は町・学生・青年部のスタッフが、マルチブロックを同町公民館の敷地に試験的に固定。地盤が思いのほか固く、子どもたちが安全に使えるよう注意を払って設置した。

プロジェクトスタッフの1人・岡田梢さん(建築都市環境学科4年)は「子どもたちの発想や行動から学ぶことが多かった。アイデアがこんなにたくさん出てくるのは、まっすぐに活用しないのはもったいないと感じました。一緒に楽しむ大人の表情も印象的でした。今後、さらにアイデアを多様な形で町に残していけたらと思います」と語った。

サイエンスしよう

■新習志野公民館で出張講座

習志野市秋津の新習志野公民館で昨年11月23日、公民館と本学協働の出張講座「千葉工大とサイエンスしよう」が開かれた。

市民には、大学が近くにありながら、その研究成果はなかなか知ることが出来ない。講座やワークショップでサイエンスに触れ、千葉工大と交流を進めたいと企画された。

子ども向けには▽リサイクルで宇宙船作り▽ロケットの構造を知ろう▽ロボット操縦体験▽金属素材でストラップ作り。他に大人も一緒に楽しめる「コマ大戦」、成人向け「ペーパークラフト」と、計6講座を開いた。

ロケット講座やストラップ作りは、専門的



子ども向けには▽リサイクルで宇宙船作り▽ロケットの構造を知ろう▽ロボット操縦体験▽金属素材でストラップ作り。他に大人も一緒に楽しめる「コマ大戦」、成人向け「ペーパークラフト」と、計6講座を開いた。

な話を交えながらも分かりやすくサイエンスに触れることができ、付き添った大人も「知らなかった。勉強になるね」。

「コマ大戦」▽写真11では学生たちが、材料によって回転数が変わることや、重心を変えたり強いコマにする秘訣を説明。その後トーナメント方式で対戦した。力や経験の差で大人がやや有利な展開。みんなが勝負の行方に一喜一憂した。大人向けペーパークラ

ロボット操縦体験 未来社会は？

■香取・栗源小で総合工学研とfURO



香取市岩部の栗源小学校で昨年11月13日、本学文化会サークル・総合工学研究会（石川直生部長）と未来ロボティクス学科2年の学生たちによる「ロボット操縦体験」と、未来ロボット技術研究センター（fURO）の先川原正浩室長による「ロボット講義」が開かれ、5、6年生児童約60人が参加した。

まず、ロボット操縦

「操縦したい人！」の声に、周りを囲んだほぼ全員が手を挙げ、次々と操縦に挑戦した。

コントローラーの簡単な操作でロボットが機敏に動き、歓声が上がった。倒れても起き上がる様子に驚きの拍手が起きた。

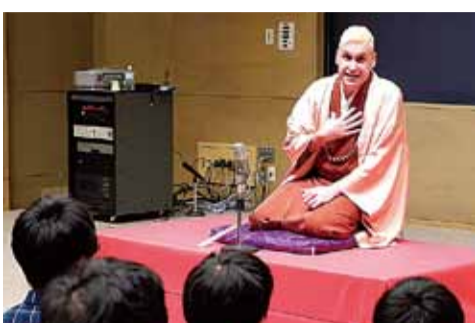
続いて先川原fURO室長が講演。未来のロボット社会がどうなるのか、役に立つ最新ロボット事情を紹介した。

三輝さん輝く話芸

▼落語講演会

大学事務局・学生センター主催の「落語講演会」が12月8日夜、新習志野キャンパス1号館で開かれた。海外に日本の文化を紹介できるようにってほしいという講座の第2弾で、参加は先着50人。協定校の神田外語大生らも参加し、カナダ出身の噺家・桂三輝さん▽写真11の話を聴き入った。

三輝さんは母国カナダで知られたミュージカル



作家だったが、来日して落語に魅せられ桂三輝さん（現六代目・桂文桂）さんに弟子入り。上方落語初、戦後日本初の外国人噺家となった。本編前に場を温める、いわゆる「枕」で学生たちを湧かせた三輝さんは、有名な「寿限無」を英語落語にして披露。続けて古典「味噌豆」、新作「動物園」など、分かりやすい噺が続ぎ、同席した留学生たちも大笑い。

最後は三輝さん自身の創作「野球」で締めた。開催目的に沿って特に質疑応答があり、学生から「若い人の落語離れをどう感じているか」と質問が飛んだ。三輝さんは「落語人気には波がある。NHK朝の連続テレビ小説『ちりとてちん』放送時は寄席にお客さんがあふれた。今も落語を題材にしたアニメがあるのでは、そんなに人気がないとは思っていない」。

さらに「落語は海外でいうスタンドアップコメディにあたるが、ス

Tand アップコメディは言葉が汚く、子供を連れていけない。落語は大人も子供も楽しめる。元々は日本語でも英語にもできる。枕は軽い話題で、本題の噺は伝統。2つの面白さが一緒になっている素晴らしい芸だと思ってる」と答えた。

参加学生たちからは「海外にも落語の面白さが伝わるのが不思議に思った」「落語を初めて生で聴いたが、引き込まれるような言葉遣いで大変楽しい時間だった」などの感想が寄せられた。

活躍する 校友

北雄ラッキー株式会社社長
桐生 宇優さん (51歳)
(昭和63年、工業経営学科卒)

ビジネスの世界は消費者ファースト。北海道で食品を中心に35店舗を展開するスーパー「北雄ラッキー」(本社・札幌市手稲区)の社長、桐生宇優さんの話を聞いていると、そんな思いを強くする。大手スーパーを横目に、地域で生き残る独自の経営哲学と

2年生から大学近くのアパートへ。卒業まで講義とバイトの日々を過ごした。4年の夏休みには、遊園地「豊島園」(東京都練馬区)へせつせと通った。園内の軽食スナックをフィールドにした卒業研究のテーマは「フレイユースナックの原価管理」。

仕入れ原価、売り値、労働時間、人件費などを積み上げていく。ストップウォッチ片手に従業員の動線を追いかけ

お陰で魚の目利きのみならず、包丁さばきも板についていた。いまや魚料理にかけては雑誌の「晩酌レシピ」特集を飾るほどの腕前だ。2016年には自宅庭に耐火レンガのピザ窯も作った。

一方でフルマラソンを走ってストレスを発散するスポーツマンでもある。

会社の年商は約435億円、パートを含め従業員は約2500人にのぼる。販売部長(役員)などを経てトップになったが、桐生さんは「次の六つのマ

地産地消 スーパー率いる



「あやふやは嫌い」と桐生さん

「あやふやは嫌い」と桐生さん。おいしい▽他の店にはない、ちよ

鮮度のよいものを好みます。それを敏感に商品棚へ反映させ、食卓へ届けていきたい」

まさに地産地消。地域に寄り添った戦略は、均一商品の量販を第一とする「チェーンストア理論」では真似できない点だろう。

北雄ラッキーのルーツは、名誉会長である父・桐生泰夫さん(79)が1971年、札幌市内で起こした食品小卸売会社。82年に衣料を扱う会社と合併、現社名に。長男の桐生さんは跡継ぎと目されるはず。

が、禍福はあざなえる縄のごとし。バブル崩壊の暗雲が漂い、父の元へ。「苦勞するぞ。やめとけ」。反対しつつ、迎えてくれた。

スーパーは肉、野菜、酒など品目ごとにバイヤーを養成する。北雄ラッキーは現在10部門。移った91年からほぼ10年間、桐生さんは魚部門で修業した。漁港、季節で上がる魚介類は違う。市場を歩き、棚での売り方に知恵を絞りつつ仕入れていく。食肉専門学校へ通ったこともある。決して楽な仕事ではない。

「あやふやは嫌い」と桐生さん。おいしい▽他の店にはない、ちよ

「あやふやは嫌い」と桐生さん。おいしい▽他の店にはない、ちよ

受験期へ各種講座

12月キャンパス見学DAY

クリスマスイルミネーション・イベントも

今年度最後の受験生向け「キャンパス見学DAY」が12月18日、津田沼校舎で開かれた。市民向けのクリスマスイルミネーション・イベントも同時開催され、受験生と地域住民約1290人が足を運んだ。

冬休みが終われば入学試験期間に突入！来場者の多くは受験生で、入試ガイダンスや受験対策講座・数学、英語に参加。2号館3階大教室で開かれた学科相談会では志望学科について詳細な説明を受けるなど、真剣な表情で話を聞いていた。

「集まれ！1、2年生は受験には間がある高校生たちに、本学の施設や学科、大学生活を紹介する講座。入試広報課職員の解説のもと、ものづくり展示やコンピュータ演習室、工作センターを見て回り展示物と機器類に好奇心を募らせていた。

学生企画のキャンパスツアーは、施設を効率的に見て回りたい来場者に応え、4号館1階「CITスポット」では学生たちが撮りためた写真でキャンパスやクラブを紹介した。

★

クリスマス・イルミネーション・イベントは7号館4階を中心に▽ミニツリ、キャンドル、フィルムロケット、合格祈願のしめ縄リースなどの制作コーナー▽サイエンスショー▽ロボット操縦体験▽ロボティクス・メディア・アート▽コマ大戦▽オセロ名人に挑戦などを展開。近隣市民たちは少し早いクリスマス気分を楽しんだ。

また、ロボットやコマのアトラクションを通じて



受験生や保護者が詰めかけた入試ガイダンス



CITものづくりを見学



各学科の相談会



クリスマスツリーを作ろうコーナー



メディアアートで投影画像を楽しむ

デザイン科学科の久保田拓朗助手が1月7日に死去した。28歳。

久保田助手は平成26年4月にデザイン科学科助手として勤務。ものづくりの楽しさや技術を少しでも伝えていきたい、と熱心に教育に励み、学生たちから慕われていた。



久保田助手が死去



サイエンスショー



フィルムロケット作り

制作コーナー▽サイエンスショー▽ロボット操縦体験▽ロボティクス・メディア・アート▽コマ大戦▽オセロ名人に挑戦などを展開。近隣市民たちは少し早いクリスマス気分を楽しんだ。

また、ロボットやコマのアトラクションを通じて科学技術に触れた。来場した高校生や市民から「学生スタッフ、先生方が優しく」「いろいろな体験ができて楽しかった」「イルミネーションを毎年、楽しみにしています」など、たくさんのご感想が寄せられた。

例年になく、今年は仕事始めからセンター入試までの期間が短く、新年早々からめまぐるしい忙しき。本格的な入試シーズン到来に、一層身が引き締まる思いだ。

この時期には、受験生や、保護者からの問い合わせ電話が殺到し、デスクワークがほぼ手につかない。毎年、なぜ募集要項で確認しないの？ウェブでも公開してほ...と、見えない相手に笑顔で丁寧に対応しつつ、少々不満を抱いていた。

しかし、恥ずかしながら、私も同じような過ちを...。息子の高校受験に必要な提出書類を記載する際、志願者の欄に自分の名前をうっかり書いてしまった、これはいかん、例を参照すれば、見本通りの生年月日

編集だより



昔、練習海面であった稲毛沖を遠望しながら、沈み行く太陽と富士山の眺望は、塩気のある男達が、しばしば見とれるほど見事なものでした。

ヨット部は、数年前に廃部となっていますが、このようにOBが集まる機会を持つたのは、大学同窓会のバックアップがあってこそです。

学内で、OB会を開催してみませんか？

建築都市環境学科 篠田 裕

知り合いの方に大きな渋柿をいただいたので、初めて干し柿作りにチャレンジしました。

取りあえず、皮を剥いて吊してみたものの、心配になり、ネットで調べると、熱湯につける、焼酎を霧吹きでかける、白カビは絶対ダメなど...

(いつもは、下に落ちて

四季雑感

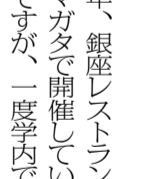


色々やることがありました。慌てて、焼酎を買ってきたりして、干し直し。知ってしまったと色々気になるので、天気の良い日は日当たりのいい軒下にかけて、カビがないかチェックしたり、追加で焼酎をかけてみたり...

すること3週間くらい。無事に美味しい干し柿ができました。

すっかり気をよくして、来年は庭にある渋柿(いつもは、下に落ちて

同窓会



開催してみよう、ということになりました。

大学同窓会本部には、住所不明OBの調査、グッズの提供等、強力なご支援をいただきました。

北海道からの参加者が、雪のため空の便欠航ということでも不参加になりましたが、おかげさまで全国から40名という人数が集まりました。

早めにおいでになったOBは、新習志野校地を訪問して、至福のひとときを過ごしました。